

土木學會副會長

内務省東京土木出張所長

工學博士 中川吉造氏

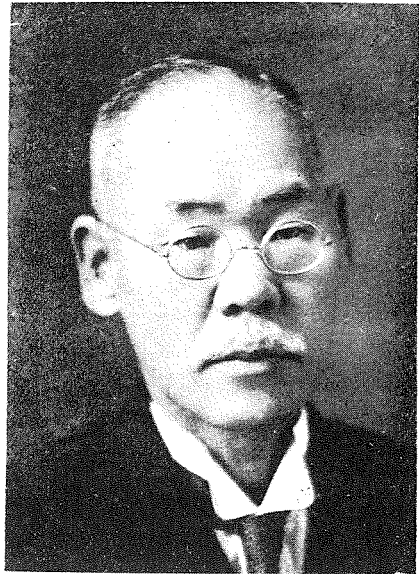
○
今年の土木學會役員改選の結果、内務省系から中川吉造博士が副會長に、福田、牧野兩氏が常議員に當選された事は一般に非常な好感を以て迎へられた。

○
中川吉造博士は現在の内務技師の内でも最も聲望がある。それは仕事に熱心な事、後進者を親切に指導する點である。大正十二年九月一日の大震災の時に諸官廳も重要書類を焼いて終つたが、東京土木出張所だけは焼かなかつた、中川所長が自宅を顧みず役所に残り率先して書類を運び出したと云ふ美談もある。

○
理由の如何に關せず先輩の地位にある人が部下を愛する事、部下を良き方に導く爲の世話をすることは第三者から見てもここに美しい事である。中川博士の如きは此の意味に於て後進者の最も敬慕する處である。現に内務省系の新進有爲なる技術者は殆んど氏の世話をうけた人々のみと云ふても良い。

○
中川吉造氏は奈良縣高田町の人で明治二十九年の東大出である。安藝杏一博士や稻垣兵太郎氏や梅野實氏など、同期である。

○
學校を出る直に内務省第一土木監督署に入り利根川改修工事の第一期及び第二期工事に當つた、第一期工事は佐原から下流で五百八拾萬圓の豫算で完成された當時日本の大工事である。第二期工事は佐原から取手間で千四百餘萬圓の大工事、之は今日尚ほ繼續工事中である。



Dr. Kichizo Nakagawa.

Tokyo Civil Work Dep't Manager of The Home Dep't and Sub-president of Japanese Society of Civil Engineers.

○
明治四十二年から翌三年に歐米へ出張を命ぜられ歸朝後大正八年頃迄内務省東京第一土木出張所工務部長であつた、次いで第二土木出張所所長となり、後第一第二土木出張所が合併されて今日の東京土木出張所所長となられた。

○
中川氏の學位論文は利根川改修第二期工事に於て有名なる横利根閘門に關する研究論文である。氏の著書と云ふものは聞かないが、我國の河川工學の權威者として實行的な第一人者である。

○
趣味としては玉突、碁、將棋、謠曲があるが、何れも夫に没する人ではない、唯部下を愛し、階級の如何にかゝはらず來るものを能く世話をする點が一の道樂であるかも知れない。